

# 2008年中堅・中小企業の生産管理アプリケーション 利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705：代表：伊嶋謙二 TEL：03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は2008年の国内中堅・中小企業の生産管理アプリケーション導入状況に関する実態調査を実施し、その分析結果を発表した。なお、本リリースは「2008年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」の生産管理アプリケーション部分のみを抽出して速報としている。

## <決め手に欠ける生産管理、突出したパッケージは存在せず>

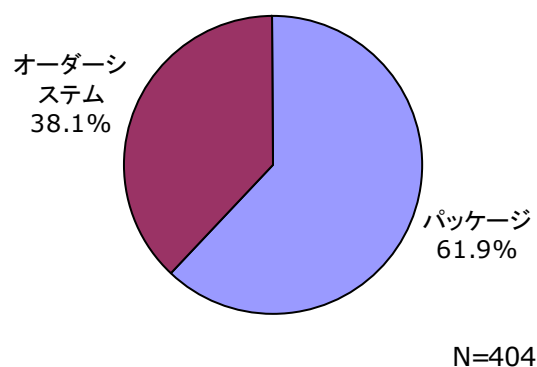
- パッケージ化率は約6割、オーダーメイドシステムが残る生産管理
- 利用パッケージシェアは一步抜け出せない混戦状態が続く
- 「TPiCS」が満足度評価トップも、生産管理全体の満足度はまだまだ低い
- 利用予定シェアトップは富士通、2位がNECとサーバベンダが上位を占める

## 一パッケージ化率は約6割、オーダーメイドシステムが残る生産管理

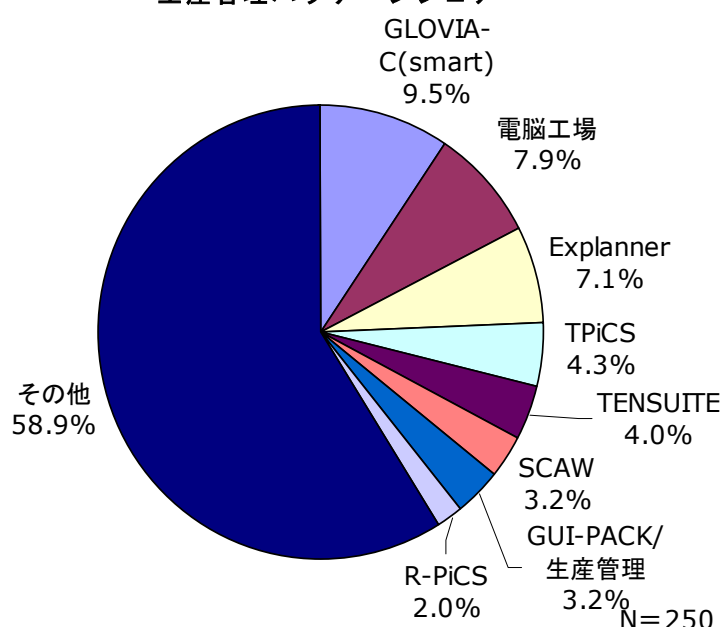
生産管理はこれまでユーザ企業各社がそれぞれに生産業務フローを持っており、企業のコアコンピタンスだった。そのためパッケージ化することは難しく、パッケージ化率は61.9%と販売管理と並んで低い。またパッケージをそのまま利用するケースは稀で、他の基幹業務パッケージに比べてカスタマイズ領域が大きく、大幅なカスタマイズが入るセミカスタムメイドなアプリケーションである。

利用パッケージシェアトップは富士通の「GLOVIA-C (smart)」で9.5%、次いでエクス「の」の「電腦工場」が7.9%、NECの「Explanner」が7.1%と続くが、以下も混戦状態であり突出したパッケージは存在しない。

生産管理パッケージ化率

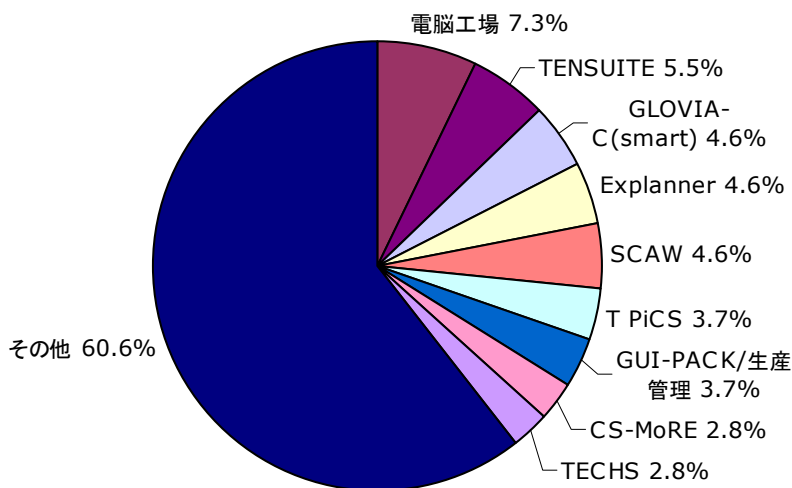


生産管理パッケージシェア



## 一 利用パッケージシェアは一步抜け出せない混戦状態が続く

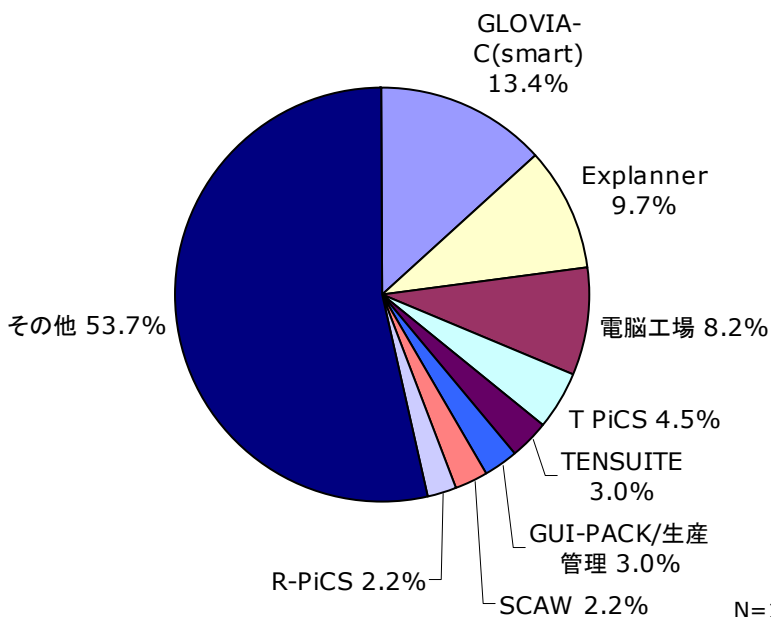
### 生産管理パッケージシェア(年商50億円未満)



N=109

年商規模別に利用パッケージシェアを見ると、年商50億円未満では、「電腦工場」が7.3%、日立情報システムズの「TENSUITE」が5.5%、「GLOVIA-C (smart)」「Explanner」、NTTデータシステムズの「SCAW」が4.6%といずれもシェア10%未満であり、またその他のパッケージを利用している割合が60.6%と特定の製品が強い状況は見られず、各社横並びの様相を呈している。

### 生産管理パッケージシェア(年商50億円以上)

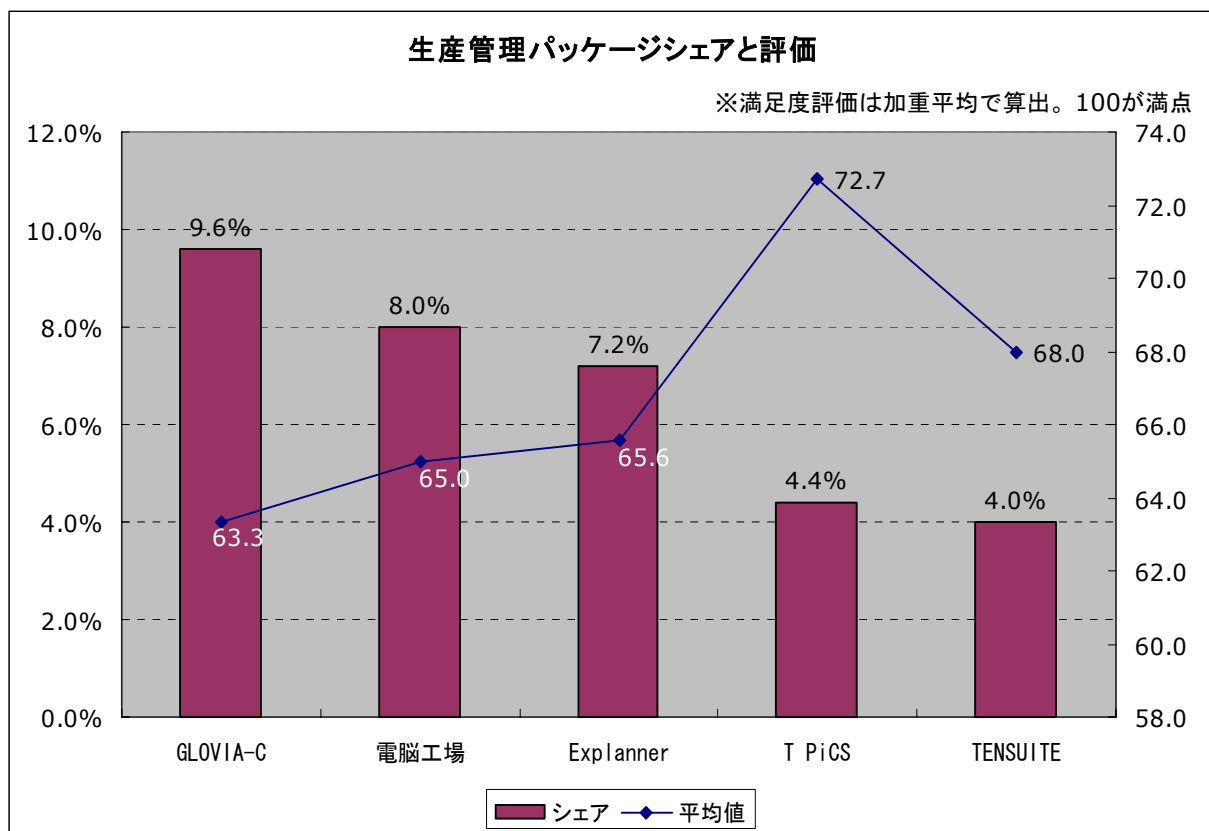


N=134

年商50億円以上の中堅企業クラスでは、年商50億円未満と比べて若干赴きが変わってくる。トップは「GLOVIA-C (smart)」で13.4%、2位が「Explanner」で9.7%、3位に「電腦工場」が8.2%で続く。年商50億円未満と比べて、上位3社の割合が高く、特に上位2社はいずれも元オフコンベンダであり、既存のオフコンユーザからのリプレースにおいて強みを発揮していると考えられる。

生産管理システムはもともとカスタムメイドがほとんどで、大半はオフコンシステムで導入されていたため、「GLOVIA-C (smart)」や「Explanner」といった富士通、NECの製品は、既存のオフコンユーザへのリプレースに強く、アドバンテージがあると言える。アドバンテージのある富士通、NECへの対抗手段として、他ベンダ各社とも細かく業種別に特化した製品を打ち出し、導入期間の短縮やカスタマイズの費用削減などを差別化ポイントにして、生き残りを図っている。しかし今後も拮抗したシェアでの混戦状態が続くと考えられる。

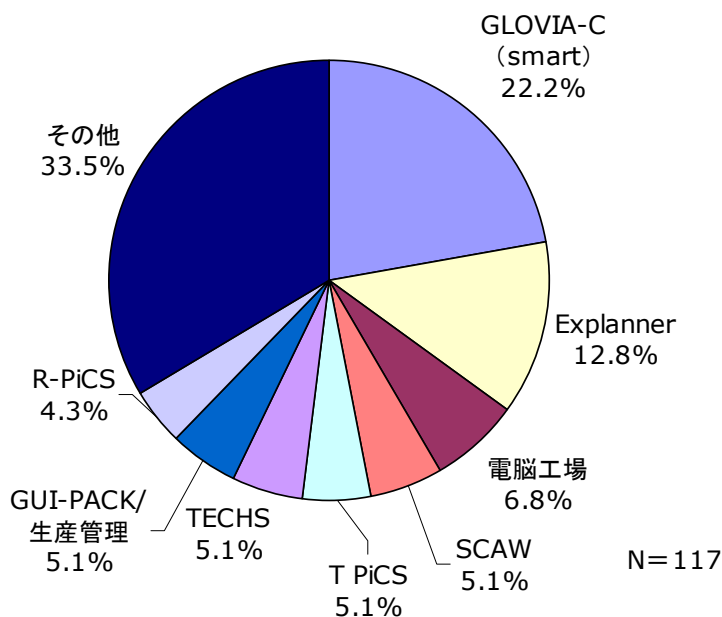
## －「TPiCS」が満足度評価トップも、生産管理全体の満足度はまだまだ低い



パッケージ満足度評価はシェア4位のティーピクス研究所「TPiCS」で72.7、5位の「TENSUITE」が68.0と上位3社に比べて高い評価となった。しかしながら生産管理全体で見ると、他の業務アプリケーションに比べて、パッケージ満足度はまだまだ低い。これはいままでも使用していたオーダーメイドシステムに比べて業務へのマッチ度が落ちること、また生産管理パッケージ自体がまだ洗練されてはおらず、パッケージの成熟度が低いことが考えられる。

## －利用予定シェアトップは富士通、2位がNECとサーバベンダが上位を占める

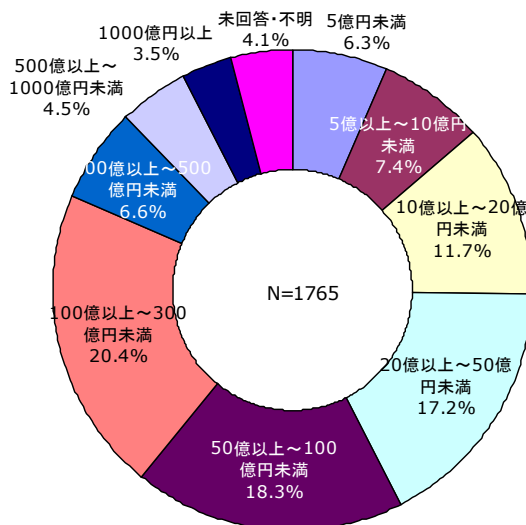
生産管理パッケージ利用予定シェア



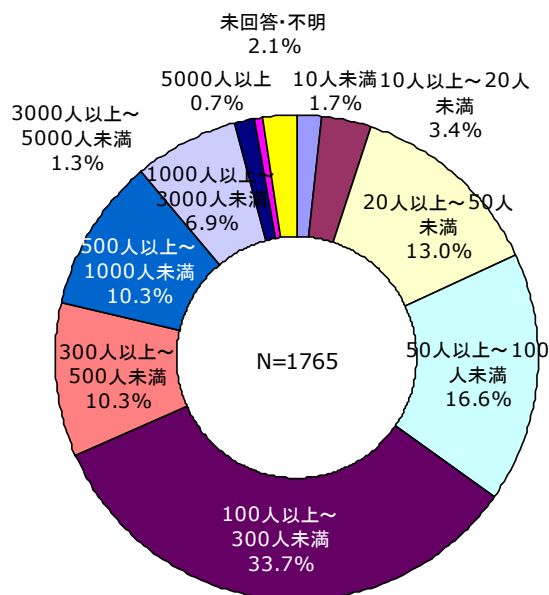
利用予定シェア首位はN数が117件であり、若干少なめなサンプル数であるが傾向は出ている。1位が「GLOVIA-C (smart)」で22.2%、2位が「Explanner」で12.8%と2社で35.0%を占めている。今後既存市場にまだまだ多く残されているオフコンピュータを持つ富士通、NECが有利に展開できそうな勢いが見える。3位以下はいずれも拮抗したシェアとなっており、混沌とした傾向はしばらく続きそうだ。

## 一 回答者属性一

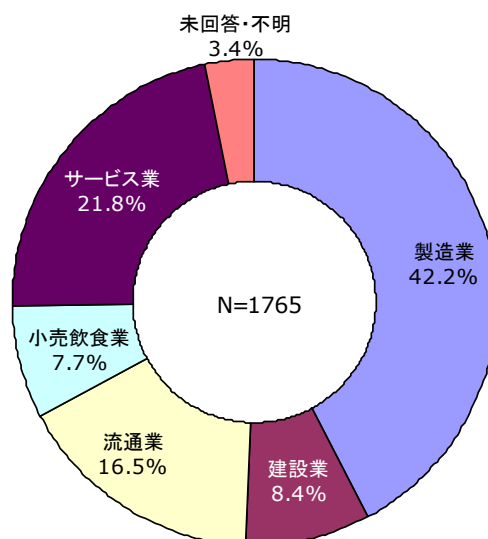
売上高



従業員数



業種



対象企業 年商5億円から500億円を目安とした民間企業  
 対象地域 全国  
 対象の選定 弊社所有の企業データベースから抽出する  
 サンプル数 中堅・中小企業約7,000社対象（有効回収票1,765件）  
 調査期間 2008年6月～9月

当調査データに関するお問い合わせ

**NORKRESEARCH**

株式会社 ノークリサーチ 担当：青木 健太郎  
 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705  
 TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692  
 inform@norkresearch.co.jp  
 www.norkresearch.co.jp